

納屋橋店	名古屋市市中村区名駅南一丁目2の2 TEL (代表) 586-2766
大曾根店	名古屋市北区山田町1-38 TEL (代表) 915-8811
堀田駅店	名古屋市瑞穂区堀田通り8-23 TEL (代表) 882-5611

日曜学校運動史

第1章 産業革命

朴 寿 吉 牧師 (布施教会)

第二節 労働者階級の職場と生活

(a) 職場の実態

柳久雄氏は、その著『生活と労働の教育思想』において「産業革命が蒸気機関や紡績機械など、機械の発明と技術の進歩に密接に結びついていった事は、いうまでもない。しかし、機械の発明自体も資本主義生産要求によって促進され、拍車をかけられた事に注意したい。機械の出現は労働手段の革命であり、これによって労働者はその主体性を奪われ、単なる機械の付属物として機械の命ずるままに動く人間機械になってしまったのである」と述べている。

その結果、英国には、富が日に日に蓄積されていく、国家歳入・輸出額の上昇は著しいものであった。ここで文東煥氏は、その著『人間解放とキリスト教教育』において、「しかし、この富は、外国資本と国内労働者たちの労働力によって搾取することによって、蓄積され、たくわえられたものであった。それゆえに、国内での貧富の格差はひどいものであった。この点は二言を要せず事実である。ことに、一般労働者たちの生活は実に悲惨この上もなく、富のため、非人間化された労働者たちの生活を指摘している。まさに、労働者は

ぶつと立てて「作業をしなければならなかった。その上、工場は非衛生的であった。例えば靴下編工は「ちっぽけな、うつつしいう部屋」で、充分な光線も得られぬまま低賃金で長時間働かなければならなかった。漂白工は、仕事に「塩素をひっきりなしに吸わねばならない」という不健康な状態に置かれていた。この状況がもたらす必然的結果は、それぞれの職業に特有な様々の職業病であった。まさに、家内労働や小作業場での労働に慣れた労働者にとっても、工場場の規律は耐えがたいものであった。厳格な規律に縛られ、魂のない機械装置の

冷酷な運動の中に、歯車のように巻き込まれるのと同じ事であった。労働者たちは、その苦境から救われるという見込みもいままに、非人間的な奴隷の状態に耐えしのんでいた。

(b) 生活の実態

産業革命がもたらした直接的でもっと悲惨な結果をもたらししたのは、住宅問題に際してである。マンチェスターには一八〇〇年になる以前からすでに労働者街があり、そこには狭くて陰気な路地やそれほど広くもない部屋に青白く虚勢な人々がぎしり詰めこまれていたような荒れた家は、家賃が安く、何よりも注目値するものは、中流階級の階層化が進み、彼らの社会的地位が上昇したという事実である。

もう一つ注目する点は、下層階級が総人口の約七割を占めていた事である。ヴァンダリントが一七三四年に推定したロンドンの労働者の必要経費を見るに、次のようである。「家族がいくらかでも見苦しくない程度」の生活を享受するには、年間五〇ポンド以上の経費を必要とする。が、現実には多くの家族が「年当り二六乃至三〇ポンド」を稼得する事しかできない実態であった。

明治学院では今年七年度に、在日韓国・朝鮮人の生徒はいま三人だけです。三人とも本名で通って来ています。一人は牧師の子供で、他の二人は民族団体に属している家庭の子供です。たまたまそういうことになったのだと思うんです。自分が在職している数年の間に、どれほど在日の生徒がいたのかと考えると、やはり三、四人程度だったんじゃないかと思えます。もちろん日本名、日本に帰化した生徒などは分らないわけですが、自分なりに同胞の子供に對する思い入れというものがあるのですけれども、まあ普通の先生として普通に教えていくことを自分分は心がけてきました。いる学校としてはやはり一定の受験体制を取らざるを得ないようなことになってきているんですけれども、その中でどうにか教科書中心だけではいけないような授業にしたいと心がけているんです。藤原史朗さんの教育実践とかを見ると、本当に自分はまだ何もできていないと感じます。

まず日本人の生徒との関係で、日本人の生徒たちが私をどう見ているのかということがあります。クラス担任になったり、教科担任する時に、自己紹介するわけですが、たい

教会音楽集会 関西地方聖歌隊連合会

ナレーター

集会全体の流れをスムーズに、また集った人々が集

スキャンというところで探したが、韓国人の中には私達に入ることから、日本のクリスチャンの女性にお願いすることになった。

私達はどのようなクリス

第三回司会者 権借美さん

続けたことか。教会音楽を

公立高校教員試験に落ち

きがあったんではないかと

思いいます。



汗・涙・感謝

—その三—

関聖連常任指揮者 金 必 順

中力をもつて参加できるよ

に、ナレーターを専門

第一・二回目司会者 中平妙子さん

テーマをめぐって

私達はどのようなクリス

続けたことか。教会音楽を

公立高校教員試験に落ち

きがあったんではないかと

思いいます。

